



「巣ごもり指数」で経済活動の変化を探る ～データが示す投資環境①～

「投資INSIDE-OUT」～データが示す投資環境～では、様々なデータを分析することで、現状の投資環境を考えていきます。

◆コロナ感染者数と巣ごもりの相関

年末年始を前に観光需要喚起策である「GoToトラベル」が、人々の移動抑制のため、全国で一時的に停止となるなど日本におけるコロナ感染再拡大が経済活動にも影響を及ぼし始めています。

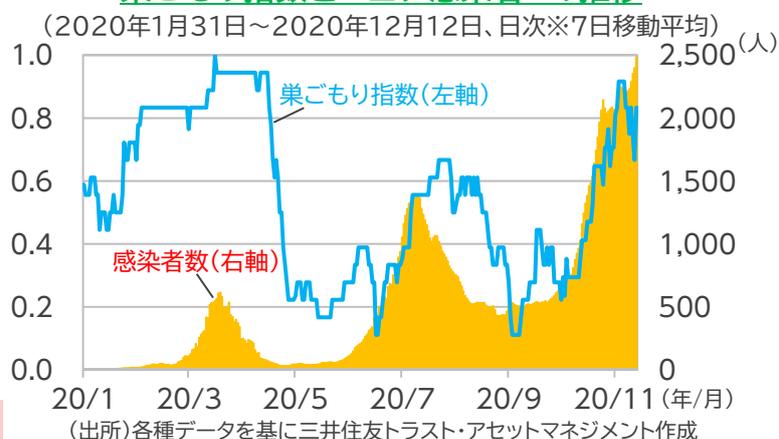
このような中、実際の経済活動はどうなっているかについて「巣ごもり指数」を使って検証してみます。「巣ごもり指数」は、18に分けた経済活動を「一カ月前の水準と比較」し、トレンドを判断するものです。行動データとされるものには電話会議用アプリのユーザー数、交通系ICカードの利用率、求人の掲載件数や求職アプリのユーザー数、地図アプリの利用状況や動画アプリの利用時間などがあります。巣ごもり指数は「0～1」で表示され、「1」に近づくほど巣ごもり度が高まっていることを示しています。

国内における12月12日時点での巣ごもり指数は「0.83」です。その内訳は、「リモートワークの活用度上昇」、「出社人口の減少」、「求人・求職環境の悪化」といった企業活動と、「旅行予約サイトのユーザー数減少」、「繁華街への人出の減少」、「動画アプリの利用時間増加」といった個人消費があり、双方ともに巣ごもり度が上昇し、「1」に近い結果となっています。

実際には、「春の緊急事態宣言の時と比べれば通勤電車は混雑している」、「最近の夜の街は、それなりに人出がある気がする」との印象を持っているかも知れません。「**巣ごもり指数**」は、**1カ月前のトレンドとの変化**をキャッチする指数であり、経済活動の「水準」を捉えたものではありません。

右図は巣ごもり指数とコロナ感染者数を示しています。感染者数が増加をするとともに巣ごもり指数も上昇しますが、巣ごもり指数の上昇傾向が明確になると感染者数のピークアウトが見られます。これを見る限りでは、緊急事態宣言発令の有無にかかわらず、コロナ感染者が増えれば、巣ごもり傾向は強まることがわかります。

巣ごもり指数とコロナ感染者*の推移



日本では「コロナ感染者数増加！」という情報自体が、
巣ごもり傾向を導いていると言えそうです。(宗)



【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。